群青 ―キプトラ２２― Vol.２４

Mar23rd2022

一日も早い回復を皆さんに祈ってほしい

3 月 16 日、部活動のために通学途中の本校 1 年生の女子生徒が交通事故の被害者となってしまった。報道によると、「姫路市飾東町の国道で自転車に乗って横断歩道を渡っていた通学途中の女子高校生が貨物トラックにはねられる事故がありました。女子高校生は病院に搬送されましたが意識不明の重体です。」

（https://news.yahoo.co.jp/articles/93a1a3b19dd1ae218ab8d72b7cd45a2a8f6e389e）

現場は、押しボタンのある横断歩道で、被害者の女子生徒は、ちゃんと押しボタンを押し、青になってから横断歩道を渡っていたと推測される。そこに信号無視のトラックが･･･。

生徒の皆さんには、彼女の一日も早い回復を祈ってほしい。また、交通ルールを自ら守ることはもちろんのこと、たとえこちらが青信号であっても安心せず、しっかり左右を確認することをこれまで以上に習慣化してほしい。まじめな人が馬鹿を見ない世の中にしなければならない。

生徒の皆さんのおかげで定員を超える志願者を集めた

2 月の特色選抜で 18 人、3 月の学力検査で 102 人の合計 120 人（現時点）の合格者が決定した。本日午後、合格者説明会を実施する。

オープンハイスクールの参加者が昨年の半数になったこともあり、志願者数への影響を心配していた。また、少子高齢化の進行により、受検生そのものが減っている中、本校は第 1 希望校で定員を超える志願者数を集め、第 2 希望校でも多くの受検生が志願してくれていた。

その要因は、生徒の皆さんだ。中学生が高校を選ぶ際、その高校に通っている生徒の姿が大きな参考になる。また、自分がその高校で成長できるかどうかが鍵になる。そういう意味で、皆さんが毎日通学している姿は、知らず知らずのうちに見る人の心の中に浸透している。中学生の周囲の大人も同様だ。「あんな高校には子供を行かせたくない」と思うか、それとも「あの学校なら大丈夫」だと思うか。

生徒の皆さんの毎日の通学の様子を見て、「姫路別所高校なら自分を成長させられる」「姫路別所高校なら大丈夫だ」と思っていただけた結果だ。信用を失うのは一瞬だが、信頼を構築するにはとてつもない時間がかかる。その地道な努力を生徒の皆さんが積み上げてきてくれたから、定員を超える志願者が集まった。私は、そんな生徒の皆さんのことを誇りに思う。併せて、そういう高校にしてくれている先生方に敬意を表する。そんな地道な努力を積み上げていくことが、一人ひとりの成長にもつながる。

兵庫県警から表彰

日頃の皆さんの交通安全への取り組みが評価され、兵庫県警から表彰状をいただいた。

今年度実施した交通安全に関するワークシートの正解率や無事故無違反を総合的に評価していただき、生徒会執行部が代表して受け取った。地域の方からの苦情がめっきり少なくなっている。生徒の皆さんの意識が向上しているということだ。これには、PTA・生徒会執行部による通学マナーアップキャンペーンも功を奏したことは確実だ。地道な努力が報われた。

We keep on trying. 挨拶日本一の高校・遅刻ゼロの高校を目指して 文責：姫路別所高等学校長　篠原　歩